取扱説明書 ―― 保管用

白熱灯スタンド　MANON（マノン）　ZM-002N

ご使用になられる前に必ずお読み下さい

この取扱説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れの仕方などご使用にあたり重要な内容が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用下さい。

お客様へ　：小学生以下のお子さんがお使いになる場合には、保護者の方がこの取扱説明書をお読みになり、正しい使い方や、やってはいけないことなどをお子さんに説明してあげてください。

■仕　様

品　番	定格電圧	適合ランプ
ZM-002N	AC100V	E17　ミニランプ　25W　1灯

・転倒OFFスイッチ付――器具が倒れたりして横になった場合に消灯します。
・温度センサー付　――セード内部の温度が設定値より高くなった場合に消灯します。

この取扱説明書のマークについて

⚠ 警告　説明書中の「警告」は人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書中の「注意」は器具破損の原因となる危険を示します。
❗ このマークのついている説明文は特に注意してください。
⃠ このマークのついている説明文は必ず守ってください。

●取り付け・取り扱い上の注意

⚠ 警告

⃠ 毛足の長いじゅうたんの上や不安定な物の上には設置しないでください。
★倒れたり、落ちたりして、火災やけがの原因となります。

⃠ ペットやカーテンなど燃えやすい物の近くで使用しないでください。　**★火災の原因となる場合があります。**

⃠ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所で使用しないで下さい。
★感電事故や漏電による火災の原因となります。

⚠ 傷んだコード（被覆の傷や芯線の露出など）は、そのまま使用せず、直ちに電気店に交換をご依頼ください。
★傷んだままで使用を続けると、火災や感電事故の原因となります。

⃠ 転倒OFFスイッチをテープなどで固定しないでください。
★器具が倒れたときにスイッチが正しく働かず、火災の原因となります。

⃠ 布や紙などの燃えやすい物で覆ったり、被せたりしないでください。
★火災の原因となります。

⃠ 器具の改造や構成部品の改造、変更はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⃠ セードの放熱穴やスイッチの隙間から、異物を差し込まないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⃠ 電源コードを無理に曲げたり、ねじったりしないでください。コードに物を載せたり、コードを踏んだりしないでください。
★コードが損傷して、感電事故や漏電による火災の原因になります。

⚠ 注意

❗ 電源プラグの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行ってください。
★コードを引っ張るとコードを傷めて、感電事故やショートによる火災の原因となる場合があります。

❗ 外出するときや長期間使用されない場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。

❗ この器具は周囲温度5°～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⃠ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質による器具のひび割れの原因となります。

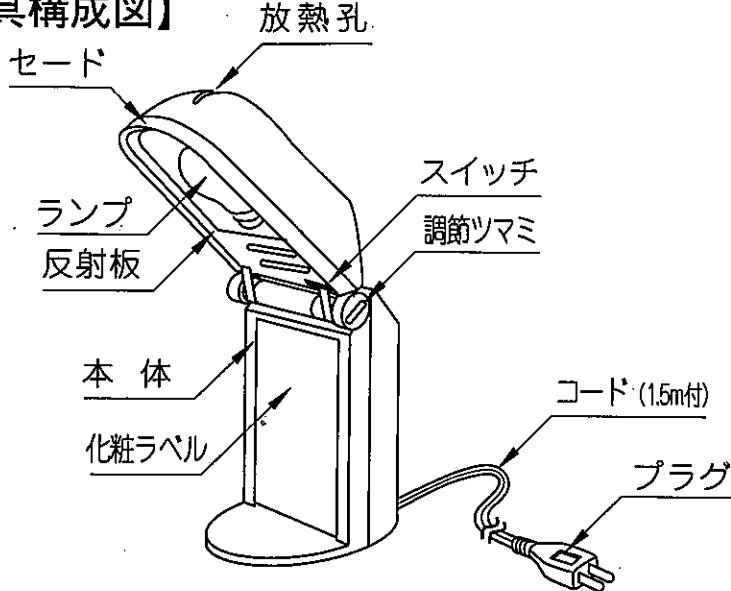
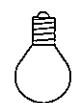
⃠ この器具はAC 100V専用です。必ずAC 100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。

⃠ コードは余裕をみて使用してください。
★コードを無理に引っ張るとコードを傷めて、感電事故やショートによる火災の原因となる場合があります。

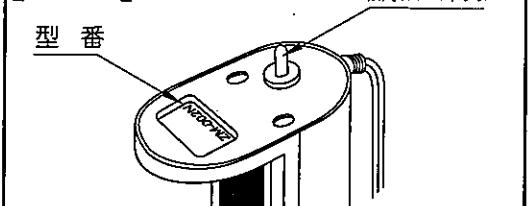
⃠ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具の変形や火災の原因となります。

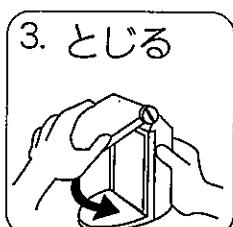
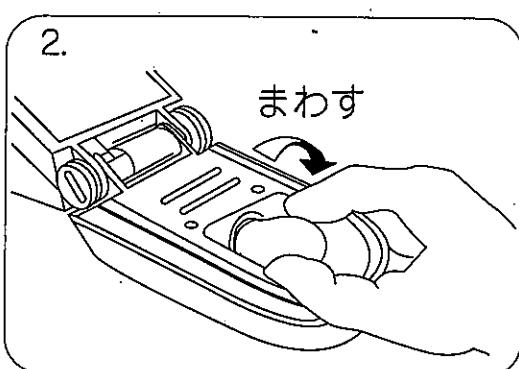
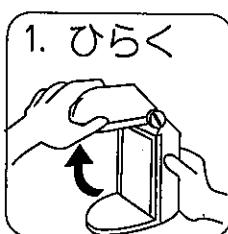
⃠ ヒビの入ったセードや一部が欠けたセードは使用しないでください。**★感電事故の原因となる場合があります。**

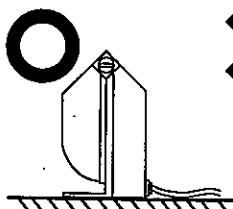
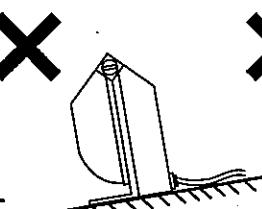
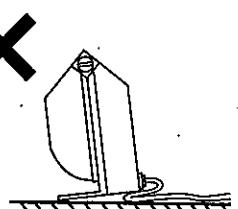
各部の名称　万一、不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明営業窓口までご連絡ください。

【器具構成図】

【付属品】

E17 ミニランプ 25W ―― 1個
(器具にセットしています)

取扱説明書（本書）―――― 1枚

【底面】

使い方

■はじめに

1. セードを開いてください。
2. ランプが確実にセットされているか確認してください。ゆるんでいたら矢印方向へまわしてしっかりつけてください。
3. セードを閉じてください。

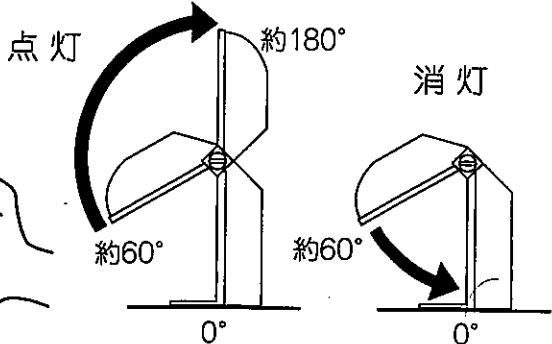
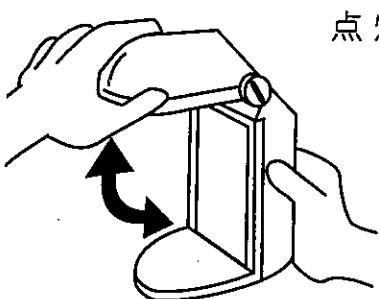
■器具の設置

1. スタンドの本体を床に置きます。
図のようにたいらな面に置いてください。

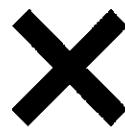
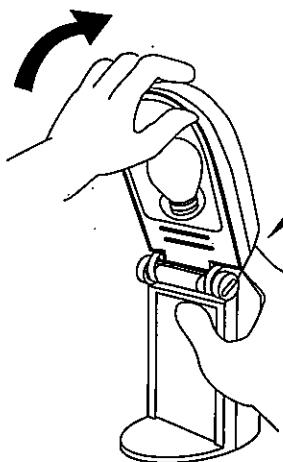
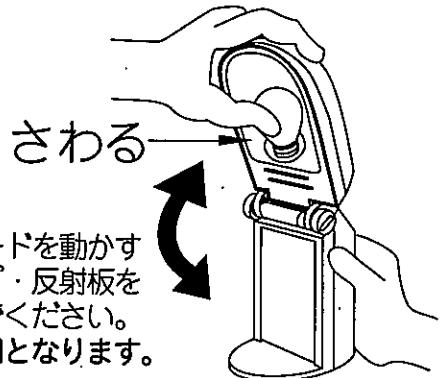
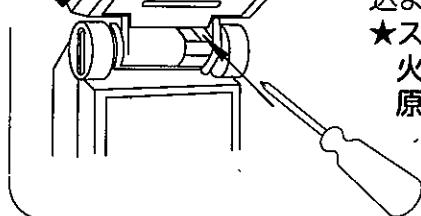
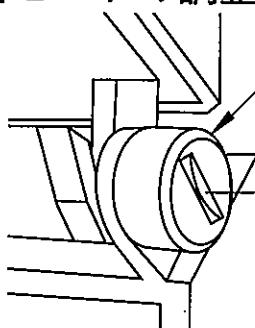
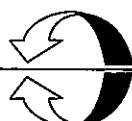
毛足の長いじゅうたんの上や不安定な物の上には設置しないでください。
★倒れたり、落ちたりして、火災やけがの原因となります。

2. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源プラグの抜き差しは、必ず電源プラグを持って行ってください。
★コードを引っ張るとコードを傷めて、感電事故やショートによる火災の原因となる場合があります。

■スイッチの操作

⚠スイッチ操作はゆっくりと確実に行ってください。乱暴に扱うと故障する原因となります。

1. スイッチ操作は左図のように両手で使用してください。
2. セードを約60°以上にすると「カチッ」という音とともに点灯します。
3. 点灯状態から約60°以下にすると「カチッ」という音とともに、消灯します。

■スイッチ操作の注意

■セードの調整

セードの動きが固すぎたり、やわらかすぎる場合に使用します。

・コインなどで調節ツマミを回してください。
左（反時計まわり）に回すと“ゆるみ”ます。
右（時計まわり）に回すと“しまり”ます。

⚠注意　調節する場合、力を入れすぎて締めすぎたりしないでください。
調節ツマミが壊れる場合があります。

●こんなときは

⚠警告　万一、煙がでたり、変な臭いがするなど、ご使用中の器具に異常を感じた時には、すぐにスイッチを切って電源プラグを抜いてください。異常がおさまったことを確認してから、販売店もしくは、最寄りの山田照明営業窓口にご連絡ください。

★スイッチを入れてもランプが点灯しない場合には、修理を依頼する前にここに書かれている内容を確認してください。

症　状	処　置	
・スイッチを入れても点灯しない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	コンセントを確かめてください。
	セードが閉じていませんか。	セードを約60°以上に上げてください。
	ランプは確実にセットされていますか。	「◆ランプの交換」の項目をご覧になり、正しくセットされているか確認してください。
	ランプが切れていませんか。	新しいランプと交換してみてください。
	器具が床面より浮いていませんか。	たいらな床に置いてみてください。
・点灯している途中でランプが消える［そのまま放置しておくと再び点灯する］	安全装置（温度センサーが働いている状態です。次の事を確認してください。） ・正しいランプがセットされていますか。この器具はミニランプ25W専用です。 ・布なので覆っていませんか。布などで覆っての使用はできません。	
・殺虫剤などの薬品をかけてしまった。	スイッチを切り、水に浸した布を堅く絞って、薬品を十分に拭き取ります。	

ここまで点検してもランプが点灯しない場合には、電源プラグを抜いて、販売店もしくは、
山田照明営業窓口にご相談ください。

お手入れについて

⚠注 意　❶必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

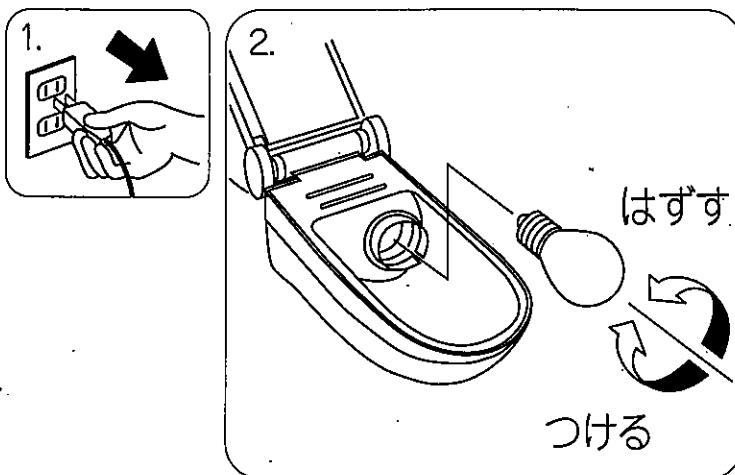
●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。「常に良い状態でお使いいただくために、半年または一年に一度は掃除をすることをお勧めします。」

⚠注 意

●ランプの交換やお手入れをするときには、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

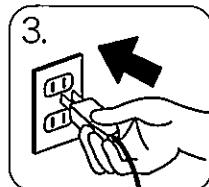
●スイッチを切った直後のランプと器具の内側はたいへん熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。
ランプの交換やお手入れは、ランプと器具が冷えてから行ってください。 **★火傷の原因となります。**
●濡れた手で触らないでください。 **★感電の原因となります。**

● ランプは乱暴に扱わないでください。 **★ランプが割れてけがをする恐れがあります。**
● 適合ランプ以外のランプは使用しないでください。 **★「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。**
● シンナーやベンジンなど揮発性の薬品や揮発油、灯油、塩化ビニール、ゴム又は研磨剤等の入ったクレンザー類は使用しないでください。 **★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。**

◆ランプの交換

1.「■スイッチの操作」欄を参考にスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

❶ 電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
★コードを引っ張るとコードを傷めて、感電事故やショートによる火災の原因となる場合があります。

2. セードの開口部から手を差し入れてランプを交換します。

3. 電源プラグをコンセントに差し込みます。

◆お手入れのしかた

水洗いはしないでください。
★絶縁不良による感電事故や漏電の原因となります。
★金属部分がさびる原因となります。

シンナーやベンジンなど揮発性の薬品や揮発油、灯油、塩化ビニール、ゴム又は研磨剤等の入ったクレンザー類は使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

1. スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 柔らかい布にお湯でうすめた中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3. ランプをはずして、セードの内側とランプの汚れも拭き取ります。
4. 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
5. 最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。